

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.12

担当 課名 健康福祉課

グループ名 健康増進グループ

記入者名

1 事業概要

(1)事業名	健康マイレージ事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総振での位置づけ		(5)予算・財源等の別			
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)	①会計区分	一般会計		
②大項目	保健・医療	②財源区分	町単独		
③中項目	健康づくり運動の推進	③予算科目	款	4	項
④施策	健康づくり運動の推進	④予算事業名	目	1	目
⑤施策コード	5.2.1.0	掲載ページ	82	ページ	2
(6)実施根拠		(7)総合戦略			
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令		③事業期間	開始	平成29年	4月から
③事業期間	終了	令和6年	3月まで		

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
埼玉県で実施している「埼玉県コバトン健康マイレージ」事業に参加することにより、楽しくウォーキングをして健康増進を図る。	埼玉県コバトン健康マイレージ事業では歩数計を使い、歩数を計測する。歩数に応じて定期的に景品の抽選にエントリーする。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
埼玉県コバトン健康マイレージ事業:18歳以上であり、町内在住者。	ウォーキングや健(検)診受診により、健康増進や介護予防に対する関心を持ってもらい、健康寿命の延伸を図る。		
対象数	25,376	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など
 少子高齢化に伴い、働く世代の減少や75歳以上の後期高齢者人口が増加している。また、1人当たりの医療費や介護給付費は増加傾向にある。町民の健康寿命延伸のために、健康に対する意識を高め、疾病予防に向けた事業を展開していく必要がある。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称 健康マイレージ事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳						
報償費	20	0	0	20	0	
需用費	368	255	144	193	151	
役務費	96	106	16	100	33	
委託料	523	238	0	373	0	
負担金補助及び交付金	294	320	311	310	316	
その他	0	0	35	0	0	
直接事業費合計	1,301	919	506	996	500	
(3)財源内訳						
国庫支出金	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他特定財源	94	38	37	37	49	
一般財源	1,207	881	469	959	451	
合計	1,301	919	506	996	500	
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	
年間人件費	3,086	2,292	2,288	2,263	1,539	
(6)総事業費	4,387	3,211	2,794	3,259	2,039	
サービス量(人)	300	400	450	500	560	
サービス単価	14.6	8.0	6.2	6.5	3.6	
(単位)	千円/参加者1人あたり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		健康マイレージ事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	教室実施回数(健康福祉課主催)	目標値	回	3	3	-
		実績値	回	0	3	
		達成率	%	0	100.0	
	埼玉県コバトン健康マイレージ事業参加者数	目標値	人	950	1,100	1,450
		実績値	人	1,066	1,341	
		達成率	%	112.2	121.9	
	小川町健康ポイント事業参加者数	目標値	人	-	120	-
		実績値	人	-	27	
		達成率	%	-	22.5	
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	参加者の1日平均歩数 (歩数データがない方は除く)	目標値	歩	8,000	8,000	8000
		実績値	歩	8,362	8,801	
		達成率	%	104.5	110.0	
(3) その他指標に現れない成果						
参加申込みを希望する町民から、友人や知り合いが参加しているのを見て参加したいと思った等の声を頂くことが多く、認知度向上から参加者増加につながった。また、ポイントや歩数に応じたインセンティブ付与により、意欲向上にもつながっている。						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
健康マイレージ事業に関しては、ポイントに応じたインセンティブを目標として参加している方が多くみられた。健康ポイント事業に関しては、初回と最終回の体力測定において、参加者の80%に腹囲の改善がみられ、事業に参加したことで運動と食事内容の改善に意欲的に取り組むようになったとの回答が得られた。各事業によって、運動をはじめとした生活習慣の改善に意識を向けるきっかけになっている。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)		(3) 最終評価 (町長)		
評価	3					
説明	インセンティブを付与することにより、運動意欲の向上につながり、一定程度の成果が認められた。県のコバトン健康マイレージ事業の終了に伴い、町も本事業を終了する。今後は、他事業との統合も視野に入りたい。					